

「煩しやあても互にうちはれて
住み清らしや街よ創ていいかな」



健康的でみどり豊かな空間と、住民の憩いの場になった安慶名大通り（予想図）

心も体も元氣 になるまちを

沖縄では、男性の平均寿命が全国26位（平成12年度）に下落し、社会問題となつていきます。そんな中、うるま市は健康関連の研究機関やベンチャー企業の集積、近代的な総合病院の存在がまちの特徴になっています。地元経済の発展のためにも、市をあげての健康づくりは命題です。住民一人ひとりが健康の尊さを認識し、健康にくらすことを心がけ、他の街からの来訪者に誇れるような安慶名ならではの名所を育てます。

今までになかった機能、環境を整え、身体的な療法に加え、精神的な健康を保つことで「健康・長寿」を目指します。生き甲斐を持つことや、日常的なあなたのしみを通して元気な暮らしが実現します。



兼城英眞さん（元具志川村長）

安慶名の発展に携わってきた「兼城英眞さん」が詠まれた琉歌には、住民が一体となったまちづくりへの強い思いがこめられています。



ど根性ガジュマルと一緒に「ハイ・チーズ」

ど根性ガジュマル

とともに

二階のベランダから排水管を伝い地面に根を生やし、長年安慶名市場を見守り生き抜いてきた「ど根性ガジュマル」、市場の取り壊しにより「旧安慶名市場」の一角に移植されました。

その「ど根性ガジュマル」が力強く大地に根を張り、緑豊かに枝を広げまちが賑わいを取り戻したころ、古き良き時代を語り合う市民の憩いの場になることを願わずにいられません。



住民の手により移植された「ど根性ガジュマル」

安慶名マネジメント株式会社

☎972-4535

うるま市役所 市街地整備課

☎965-5604